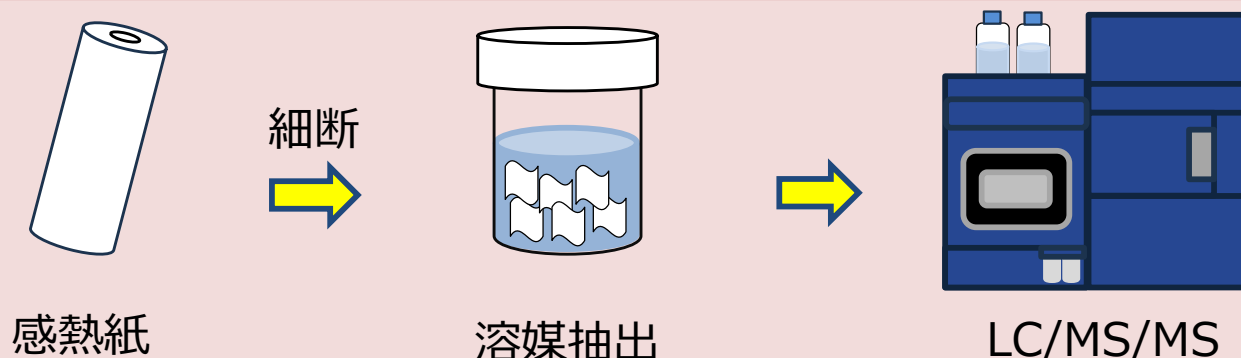


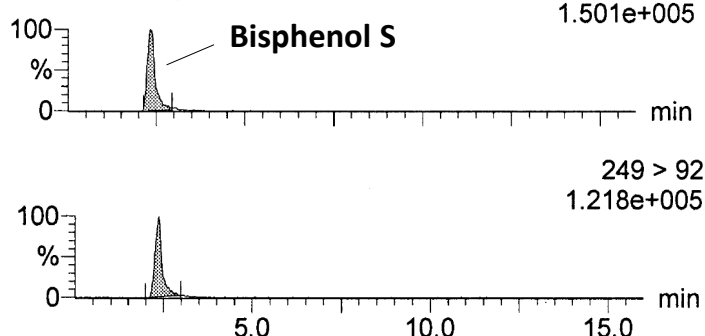
ビスフェノール類の規制動向と含有量把握

SVHC(高懸念物質)候補リストに掲載されたBPA(ビスフェノールA)は製品中に0.1wt%以上含まれていると、欧州化学品庁(ECHA)への届出義務やユーザーへの情報提供が必要となります。代替品としてBPS(ビスフェノールS)が使用されてきましたが、そのBPSもSVHC候補リストに掲載されました。

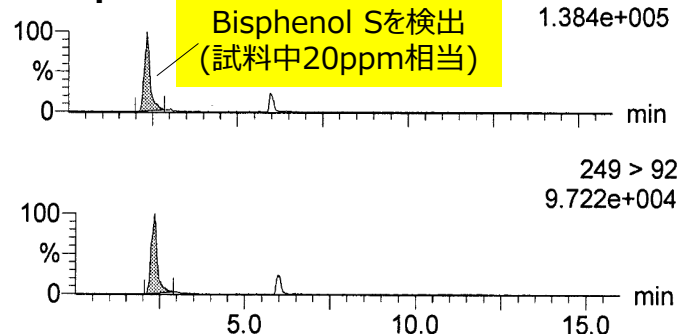
感熱紙からBPS(ビスフェノールS)を検出



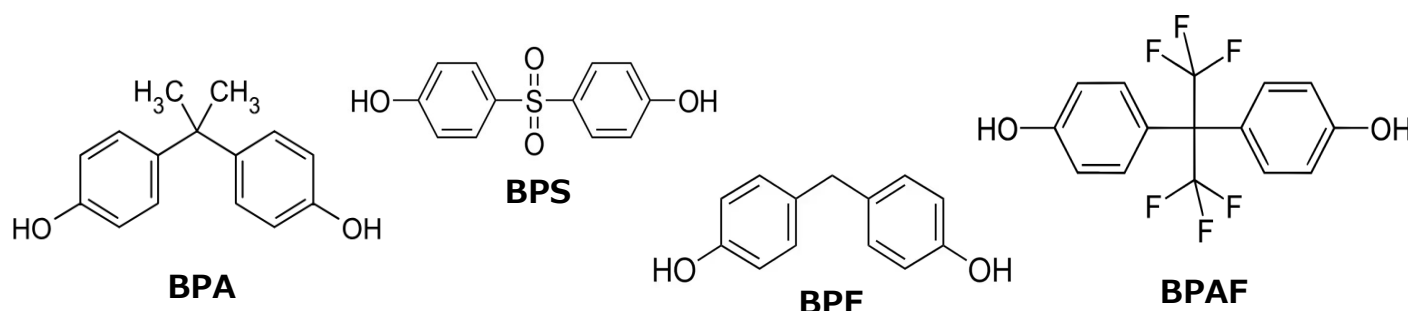
BPS 2.8 $\mu\text{g/mL}$



Sample



検証した感熱紙からはBPAの代替品であったBPSが検出されました。
BPSもSVHC候補リストに掲載されており、BPAとともに含有量の把握が重要です。



**BPA同様、生殖毒性物質と言われている、
ビスフェノールF(BPF)やビスフェノールAF(BPAF)の定量も可能**